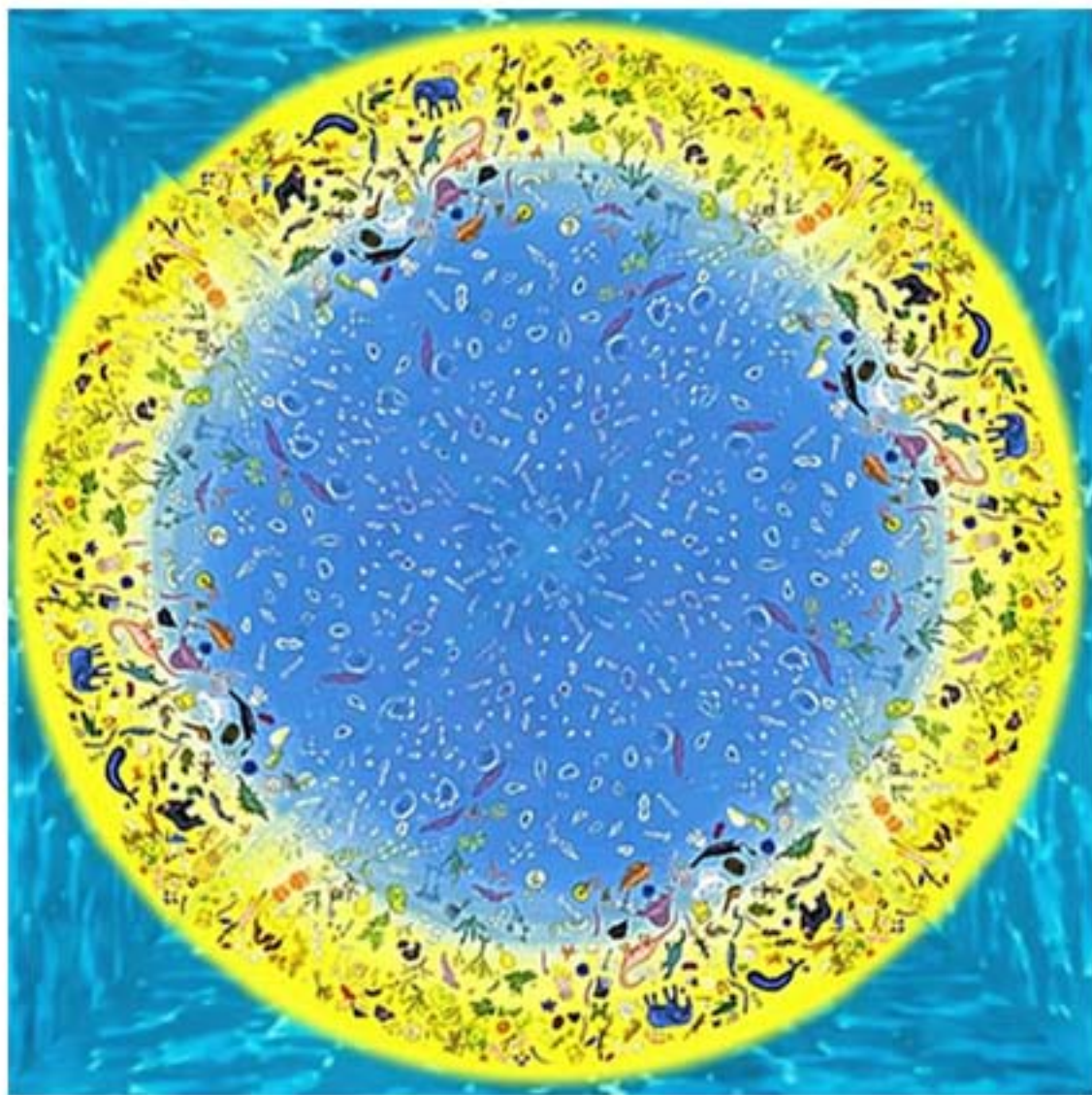


曼荼羅礼讚



画：月野 あんこ
讚：伊藤 龍樹

おめでとう

いのちの絆がひとつ増えたね

もう孤独だなんて絶対言わせないよ

ダディーはいつ他人になるかわかんないけど

新しいいのちは死ぬまで変わらないんだから

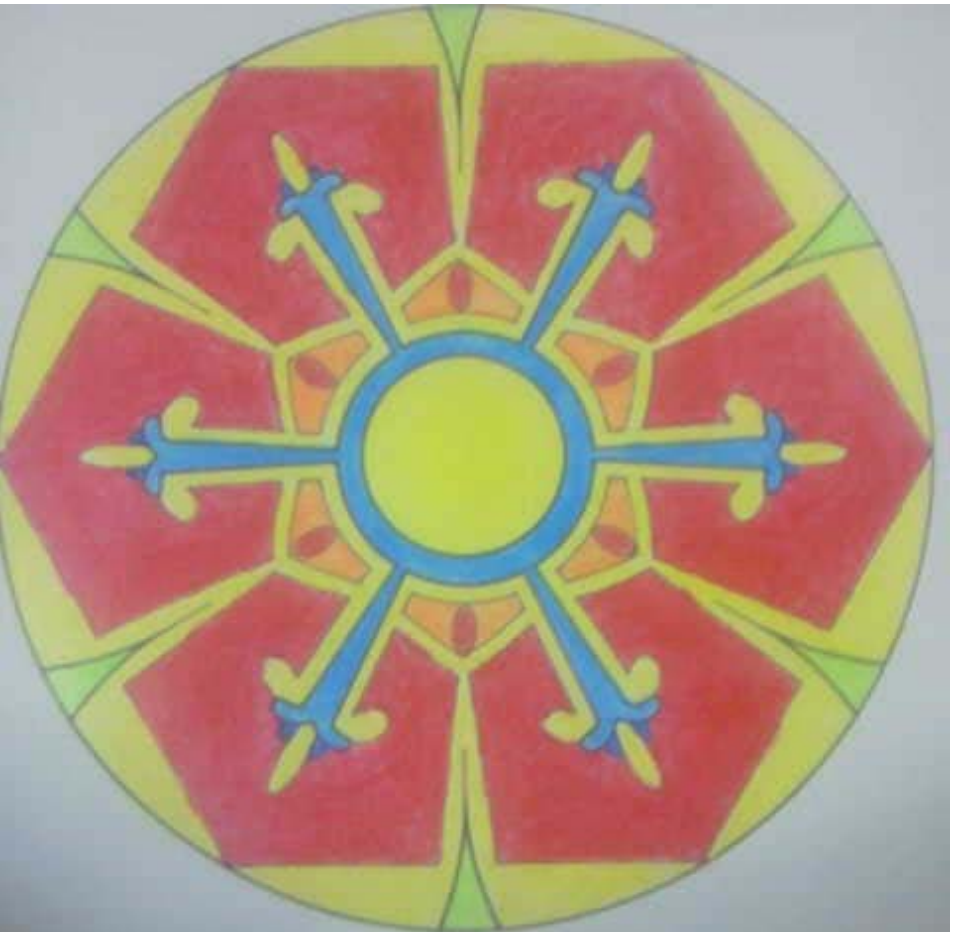
いつかは旅立っていく存在だけど

きつと今までよりもっともっとたくさん思い出ができるからね

きつと忙しくなるけどやってけるパワーがわいてくるよ

はっぴーばーすでいであゆあべいびい

わたしもあなたからパワーもらっちゃいました！



世界中の友だちの平和を願って

人間が

私利私欲を捨て

自分を捨てて

地球とひとつになれるなら

そこでは自然に

人々が一つの環になる

理想郷が生まれるだろう

そこは神の国

ダビデの星に建てる国





迎春 玄武 白虎 朱雀 青龍 生命 祝え 新年 祝え

どこの国のお正月

はばたけ七つの生命たちよ！ 空高く、大空へ

一つの生命が

冬眠から目覚める

窮屈そうにしている

真ん中の命

それはわたし

みんな羽ばたいて

わたしも想いっきり

飛んで行きたいの



あなたと再会

わたし

出会っちゃったの

久しぶりに

花びらが

噴水のように

湧き出てくる

そう

あなたとの再会



太陽と魚

海は生命

魚は海と一体

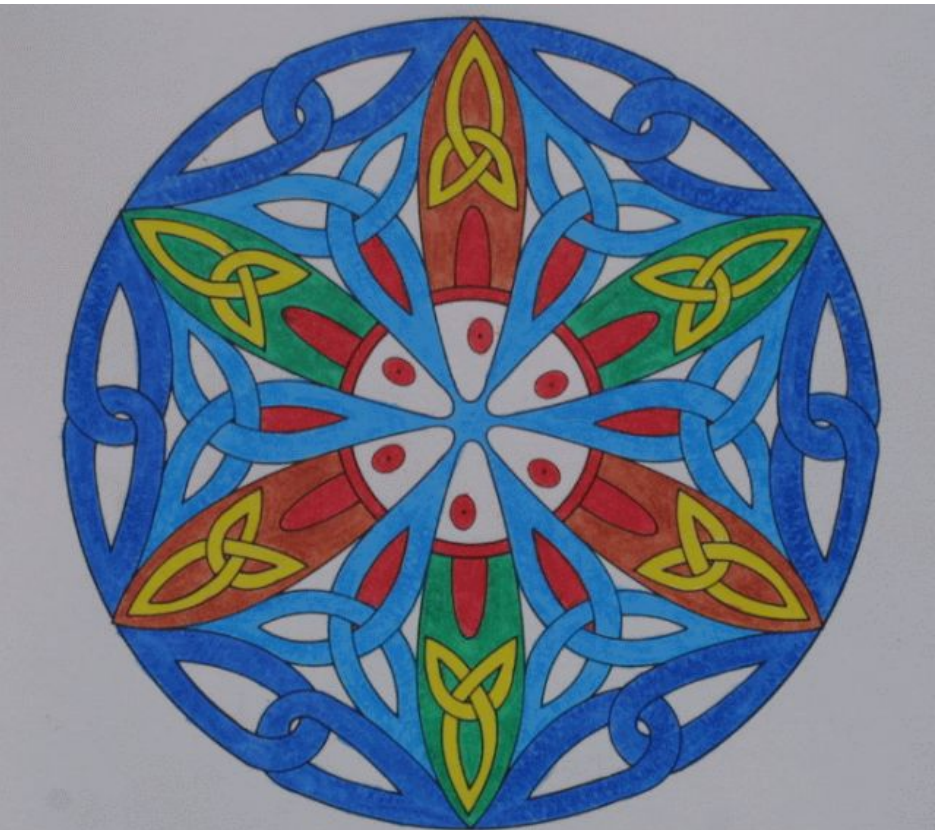
海は太陽に包まれる

熱い血潮がよみがえる

帰りたい

なぜわたしは海から遠い存在なの？

教えてよ



太陽のオーラの泉

いつのまにかわたしは太陽にさせられて
癒しのリリアン糸を繰り出している

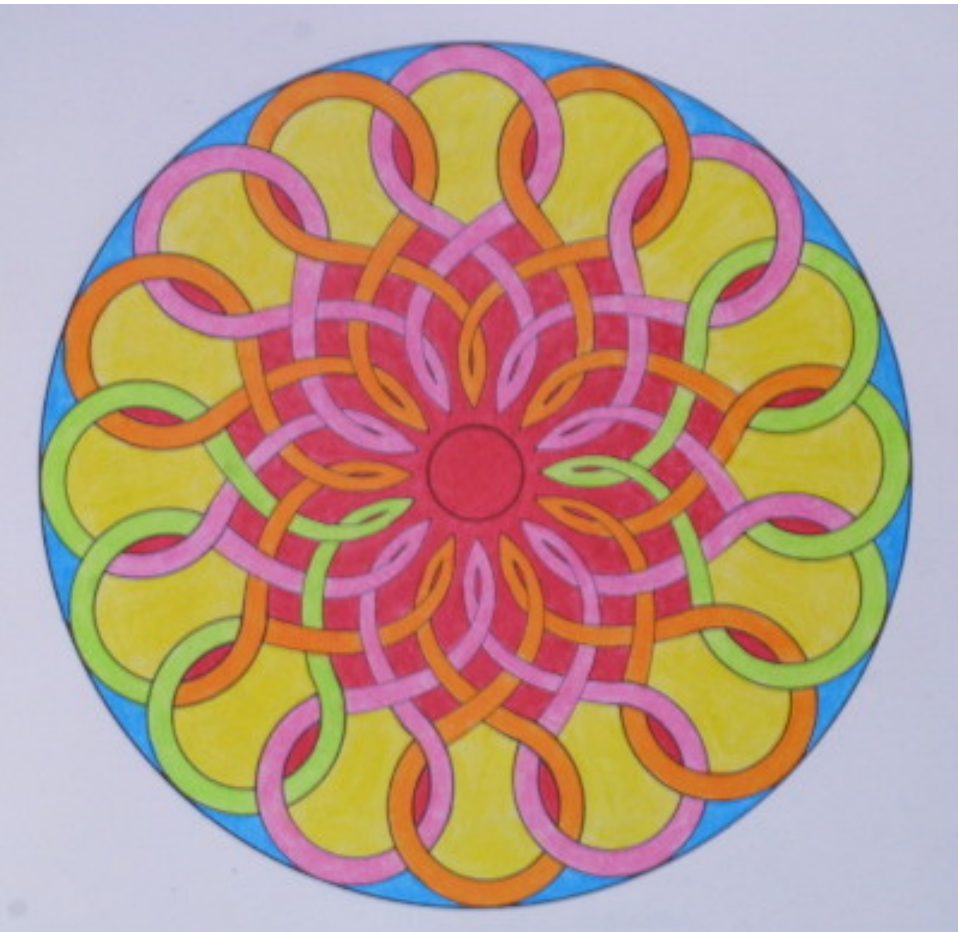
月じゃなかったの？

それでもこの精密な歯車は

まどろむことなく糸を吐き続けている

もうわかったわ

太陽のオーラを出し続けてあげる



君ヲ想ヒ君ヲ待ちつつける花　　（友へ）

此ノ悲シミヲ聞ヒテ

暖メテ欲シイノ

封ジタ心ヲ開クカラ

暖カク迎ヘテ

友達ナラ解ツテ

やっぱり

あなたを待つしかないのね

わたしは壊れたまま君を待っている



永遠に共に　　く生と死く

死ぬ時は一緒

そう約束した

互いに看取る

そう約束した

死を共にすることで

わたしは永遠に君と生きられる

お互いの頸動脈を結んで交わした

永遠に君と共にいる約束



心友へ 「おめでとう」

ともに分かち喜びに

わたしのすべてを出してあげる

ピンクの花びら

オレンジの紅葉

グリーンの若葉

黄色のレモン

一番届いて欲しいのは月色のわたし



百合子おばあちゃんへ「祈り」

わたしの持っているものは

みんな譲り受けたもの

どんなに自分を出してみても

思い出すのは百合子おばあちゃん

わたしも一度

三途の川を見たことがあるの

きれいだった

また会えるよね



希望の光

何重にも広がっていく光の環

喜びと悲しみと

生き別れ死に別れ

振り返ってみれば

わたしって結構苦労しているのよね

このかけがえのない環は友達

いつも支えてくれる恋人

わたしは何度落ち込みながらも

希望の光に向かって生きていく



イメージは、あんこの大好きなひまわりの花

わたしにないものが欲しい

ひまわりになりたい

素朴でいい

牧歌的な風景でいい

繊細ともすれっからしとも言われるわたしだけど

実は田舎娘を捨てられないの

わたしの求めていたひまわりは

わたしの幼年に埋もれていた

わたしは今生きている

